

ケーススタディ地区の取組概要

<u>地区名</u>	<u>大 館 市</u>
<u>局 署 名</u>	東北局／米代東部署
<u>地 域 課 題</u>	施業集約化の推進と木材の安定供給 森林所有者等による適切な施業実施

28年度実績

取組内容

- ・フォレスターチーム、森林組合等によるケーススタディ地区支援体制の構築
- ・大館市等に対して、市町村森林整備計画作成に関するアンケート調査を実施し、その結果をもとに計画作成に関する研修会を開催

現地検討会	1回(一貫作業システム(国29名,民47名))
勉強会	2回(採材方法(国16名,民36名)、市町村森林整備計画の作成(国8名,民25名))
会議	-
打合せ	5回

今後の予定

- ・市町村森林整備計画の作成(29年度)にあたり、研修会等を行い、市による計画作成を支援
- ・市町村森林整備計画の実行・監理のための支援
- ・森林共同施業団地の協定更新や拡充及び新規設定を検討



写真:一貫作業システム現地検討会(H28.9)



写真:市町村森林整備計画の作成に関する研修会(H29.2)

＜ケーススタディ地区の取組状況（平成28年度）：東北森林管理局＞
施業集約化の推進と木材の安定供給及び森林所有者等による適切な施業実施

- 地区名等 秋田県大館市(米代東部森林管理署)
- 連携体制 米代川流域フォレスターチーム、大館北秋田森林組合
(オブザーバー：秋田県フォレスター協議会)

＜選定理由＞

- 大館市では、「大館市森林資源循環利用構想」を策定し、産業団地において木材流通センターや未利用資源材を原料とするチップ工場が稼働しており、市としても積極的に支援している。
- また、国有林に対しても、民国連携した大ロードによる木材供給など、安定供給や地域振興に協力を求められている。
- さらに、平成29年度が大館市の市町村森林整備計画の作成年度であり、地域の課題に応じた市町村森林整備計画が必要である。

＜取組状況＞

- ケーススタディ地区の設定及び支援体制について各種打合せを実施。
- 素材生産における採材方法の勉強会を実施。
- 一貫作業システム現地検討会を実施。
- ケーススタディ地区での具体的な取組等について各種打ち合せを実施。
- 大館市を含む米代川流域の市町村のかかえる課題を**具体化するためのアンケート調査**を実施。
- 市町村森林整備計画の作成に関する研修会の実施。

＜取組成果＞

- 米代川流域フォレスターチーム及び大館北秋田森林組合等によるケーススタディ地区の連携体制の構築。
- アンケート調査による具体的な地域課題等の**把握**。
- 研修会での地域の特徴ある市町村森林整備計画の事例紹介等による当該計画作成のための情報共有等。

市町村森林整備計画作成に関する研修会(H290223)



採材方法の勉強会(H280707)



＜今後の課題・取組・目標＞

- 1 具体的な地域の課題設定と地域の特徴ある市町村森林整備計画作成への支援。
- 2 上記1のため研修会等の実施。
- 3 大館市の市町村森林整備計画の実行・監理のための支援。
- 4 上記3のための研修会等の実施
- 5 現森林共同施業団地についての協定更新や拡充及び新規設定。